

弁天山から広徳寺へ 初冬ゆったりハイキング

開催日：2025年12月6日（土） 晴れ やや健脚 20000歩 約11km

出 発：JR武蔵五日市線武蔵増戸駅10時00分

コース：武蔵増戸駅（標高175m）→山田通り→山田大橋→鳥居→分岐→貴志嶋神社→弁天洞穴→
弁天山（標高292m）→網代城山（標高331m）→新天王橋→前山トンネル→都立小峰公園 
（昼食）→里山尾根コース→小峰公園最高地点（標高336m）→臨済宗広徳寺→秋川右岸→
秋川橋→武蔵五日市駅（標高189m）

参加者：市村L 熊坂SL 奥村SL 斉藤優 山田 岩元 大城 飯倉 沼津 中西 秋澤 網 種田
計13名

増戸駅から、多摩川の支流秋川に沿って南側に広がる秋川丘陵を歩き、弁天山と網代城山の二つの低山を踏破。山頂から都心の景観を楽しんで都立小峰公園へ下山。谷戸の湧き水を利用した田んぼや湿地で農作業などを体験している人たちが、のどかな風景が広がっていました。ハイキング一行は芝生広場で暖かい陽射しを浴びての昼食タイム、日常を忘れて時間がゆったり流れているようです。上りがいいがあったのが公園内の里山尾根コース、九十九折の上りから直登の丸太階段。みなさんクリアして広徳寺へ下山、茅葺屋根の重厚な山門、2本の大イチョウ、その下にはイチョウの葉の黄色絨毯が敷きつめられていました。秋川右岸を歩き、予定タイムより5分早い15時15分に武蔵五日市駅へ着きました。秋澤さんと種田さんが、やや健コース初デビュー。自然満喫の初冬ゆったりハイキングでした。



武蔵増戸駅 ストレッチ・コース説明 10時10分～山田通り

集合はJR五日市線武蔵増戸駅、「むさしますこ」と読みます。所在地はあきる野市、1925年（大正14年）4月に五日市鉄道の増戸駅として開業。2011年に木造の駅舎から現駅舎に建て替えられました。駅前の人通りが少ないので、奥村サブリーダーのリードでストレッチをして市村リーダーがコース説明。駅前に武蔵増戸のマップがありました。東から西（地図右から左）へJR五日市線、その南に秋川が流れ、さらに南に秋川丘陵が広がり、サマーランドも見えます。10時10分にスタート、山田通りに出ます。



山田大橋～弁天山～網代弁天山分岐～網代会館前

秋川に架かる山田大橋へ、先頭を歩いているのは山田さん。溪谷が深く切れ込んでいて堰のところに魚道が見えます。左前方の方向にサマーランドの観覧車が見えてきました。橋を渡ると網代トンネルですが、手前で右に下りていきます。弁天山を指し示す道標が出てきました。そこへ、集合に遅れた参加者を待っていた熊坂サブリーダーがタクシーで追いついて来ました。実がたわわについた柿の木、最近熊が柿の木に上り、柿の実を食べている映像がたびたび映し出されるので複雑な気持ちになります。弁天橋を渡り、網代弁天山分岐まで来ました。50mほど進んで10時48分に網代会館前へ、水分補給と衣類調整です。



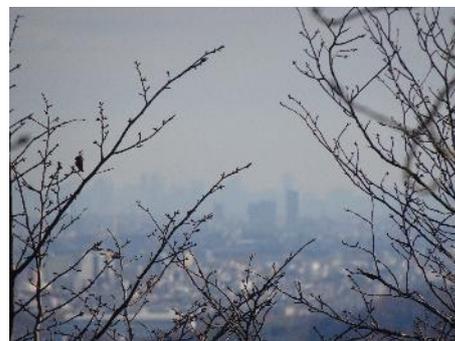
貴志嶋神社鳥居～貴志嶋神社～弁天山(標高292m)

会館前から登山道、少し上って貴志嶋神社鳥居へ。参道の石段を上り、木漏れ日射す紅葉の道をカサカサと、落ち葉を踏みしめながら上って行きます。上りきったところで案内図が出てきました。ここから弁天山へは2ルートあり、左の貴志嶋神社経由方向へ進みます。平坦な道を少し歩くと貴志嶋神社へ出ました。神社横の岩場を上ると注連縄が張られたところに弁天洞窟があり、中を覗きましたが暗くて良く見えませんでした。弁天山山頂を巻くように上って行き11時11分、弁天山山頂に到着。標高は292m、山頂は狭く岩場だらけです。青空を背景に集合写真を撮影しました。



弁天山 11時20分～城山分岐～11時46分 網代城山 (標高331m)

弁天山からの景観について「山頂は東側の眺望が開けていてあきる野市の市街地や都心方面を見渡すことができます」と案内しました。ところが、あきる野市の市街地やサマーランドなどは見えましたが、都心方面ははっきりとは見えませんでした。11時20分下山開始、200m進んだところで道標が城山を示していません。100m戻り、城山を示す道標を見落とししたことに気が付きました。城山への長い木段を上って行きます。11時46分、網代城跡の標高331mの網代城山に着きました。ここからは都心が一望できてスカイツリーもはっきり見えました。ところがカメラのバッテリー切れで写真は下見のときのものです。



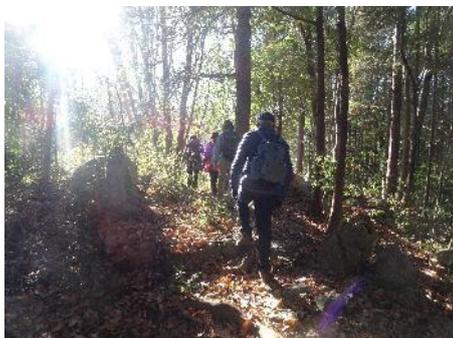
城山11時52分～前山トンネル～12時52分小峰公園・昼食タイム

11時52分、下山開始です。ここから小峰ビジターセンターまでも、下見のときの写真使用です。長い下りが続きます。ときおり上ってくる人に出会いました。里山風景が広がるころまで下りてきたところでミツバチ養蜂箱がいくつか置かれていました。舗装道路へ出て新天王橋を渡り、前山トンネルを抜けて秋川街道にぶつかり、少し左へ歩いたところが都立小峰公園の入口です。時刻は12時25分、ビジターセンターへ入りカメラのバッテリーを充電させていただきました。みなさんは公園に入り昼食タイムです。15分ほど充電して公園の中へ、みなさん芝生広場の上やベンチで、暖かい陽射しを浴びて楽しそうに昼食中です。



公園13時8分～里山尾根コース～九十九折り～木段～最高地点(標高336m)

田んぼなどで農作業をしていた人たちが片付け作業をしています。のどかな谷戸風景が広がり時間がゆったり流れているようで日本の原風景を眺めているようです。13時8分、里山尾根コースでこの日の最高地点をめざします。午後の先頭は熊坂サブリーダー、コース前半は九十九折りの連続で高度を上げていきます。上り切って平坦な道を進んで行くと目もくらむような木段、「天空へ続く階段」なのか「魔の階段」なのか。一步一步慎重に上って行き、標高336mのこの日最高地点へ到着しました。一息入れて、広徳寺をめざします。何回か緩やかなアップダウンを繰り返しながら高度を下げて行き、送電線鉄塔下を通過しました。



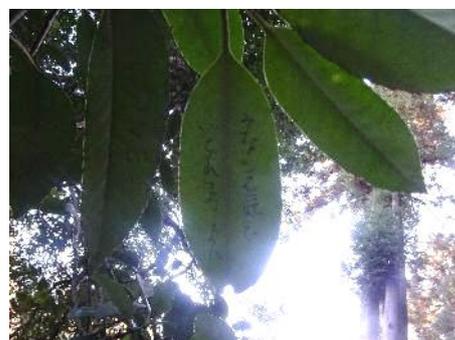
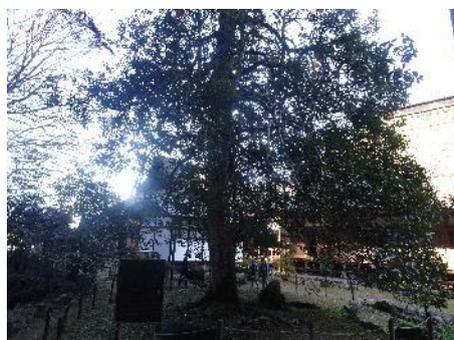
霜柱をサクサクと踏みしめて～14時10分広徳寺～重厚な山門

陽が当たらない道のところで霜柱、やはり寒い土地なのですね、サクサクと踏みしめて歩きました。大分下って、秋川沿いの景観が広がってきました。14時10分、弁天山、網代城山、そして小峰公園最高地点を踏破して下山。臨済宗広徳寺の茅葺総門前へ到着しました。広徳寺は、応安6年（1373年）に創建された古刹です。境内に入り、茅葺屋根の重厚な山門前で笑顔の集合写真を撮影しました。



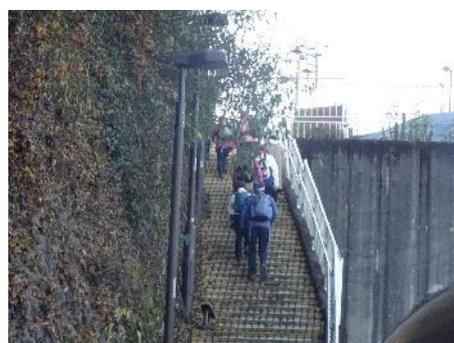
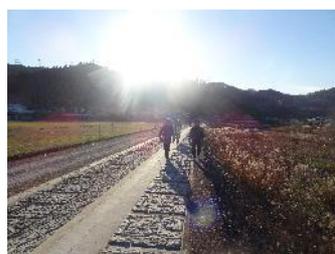
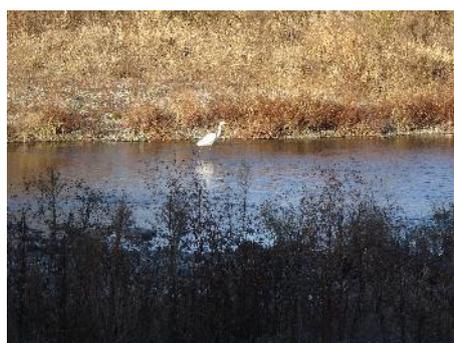
2本の大イチョウ・黄色の絨毯～タラヨウの木～カヤの木

山門をくぐると樹齢300年～400年といわれる2本の大イチョウ、その下にはイチョウの葉の黄色絨毯が敷きつめられていました。本堂裏に廻ると樹高19.1mのタラヨウの木がそびえています。タラヨウは葉の裏側に文字を書くことができます。「みなさん元気でいられますように」と書かれた葉をパチリ。熊坂さんと網さんもなにか書かれているようです。まだ少し紅葉が残っている境内を歩きカヤの木の前へ。幹回り5.35m、樹高24.45mのカヤの木は見ごたえあります。



広徳寺14時25分～秋川右岸～秋川橋～15時15分武蔵五日市駅

かやの木を見て時刻は14時25分、武蔵五日市駅をめざしてスタート、住宅地の緩やかな下り道歩いて行きます。ユズの無人販売所の前で足が止まりました。秋川右岸に出て西から東に、下流へ歩きます。秋川橋手前の広い河川敷に出てクールダウン。秋川橋を渡り最後の上り階段、疲れた体にはかなりこたえます。上り切って後ろを振り返ると、歩いて来た秋川丘陵の稜線がくっきりと見えました。都道31号青梅あきる野線を進み15時15分、予定より5分早く武蔵五日市駅へ着きました。



(市村記)